

令和元年10月12日出水
台風第19号に伴う降雨による出水概要 (第3報)

○福島河川国道事務所では、令和元年10月12日夜から13日朝にかけ降った記録的な豪雨による洪水について、管内の阿武隈川水系の出水概要(第3報)をとりまとめましたので、お知らせ致します。
○なお、内容は速報版に付き、今後情報が変更となる可能性があります。

《事務所管内の情報は、右記のURLからご覧下さい》 <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

< 記者発表会 : 福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ >



お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

TEL 024-546-4331 (代)

調査第一課長 こが ひろひさ 古賀 博久 内線(351)

**令和元年10月12日出水
台風第19号に伴う降雨による出水概要**

第3報

令和元年11月28日
国土交通省 東北地方整備局
福島河川国道事務所

※数値は速報値ですので今後の精査等により変更する場合があります。

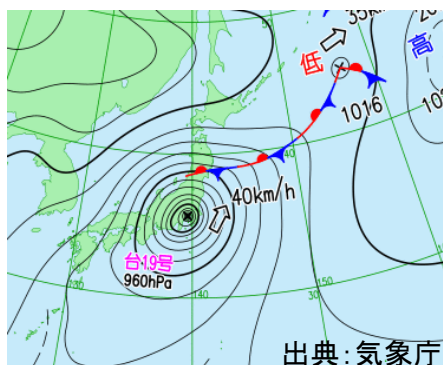
令和元年台風第19号に伴う降雨の概要

・令和元年台風第19号に伴う降雨では、須賀川・郡山・福島地点等の阿武隈川流域で24時間に200mmを超える雨が広範囲にわたり激しく降り、既往最大の雨量や平成の大改修の契機となった平成10年8月出水の降雨記録を上回る雨量が観測された記録的な降雨であった。

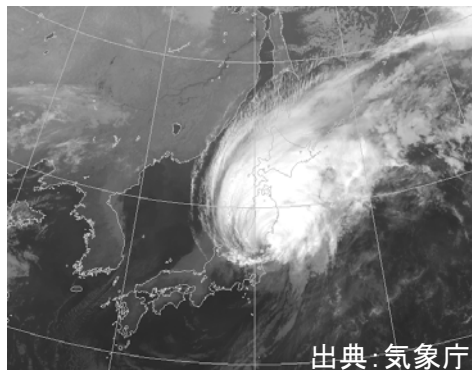
※ 速報値

天気図と気象衛星画像

天気図(10月12日21時頃)

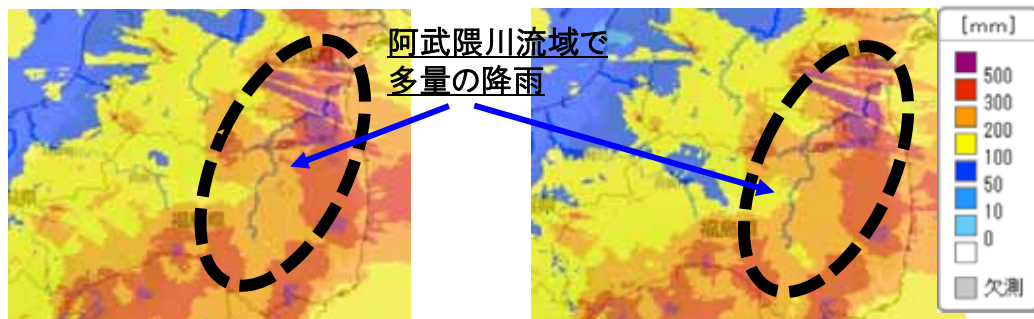


気象衛星画像(10月13日1時頃)



累加雨量レーダ分布図

24時間雨量と48時間雨量のレーダ分布図が概ね一致⇒24時間に雨が集中



※ 累加レーダー雨量図は統一河川情報システムより

※ 累加レーダー雨量図は統一河川情報システムより

10月11日0時から13日0時までの48時間の累計

10月12日0時から13日0時までの24時間の累計

過去の出水との比較

雨量	須賀川 (mm/24h)	郡山 (mm/24h)	福島 (mm/24h)
今出水前の 既往最大の雨量	233 平成23年 9月出水	184 昭和61年 8.5洪水	236 平成14年 7月出水
平成10年8月出水 (平成の大改修の 契機となった出水)	150	147	168
令和元年 台風第19号	271 (1位)	211 (1位)	213 (2位)

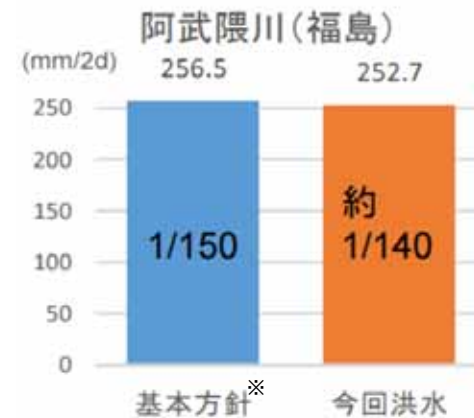
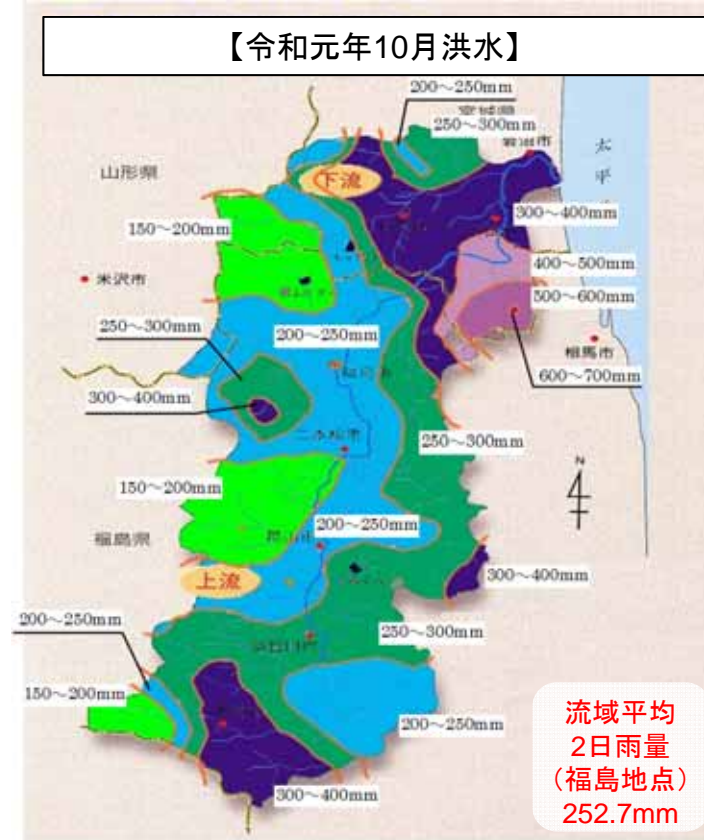
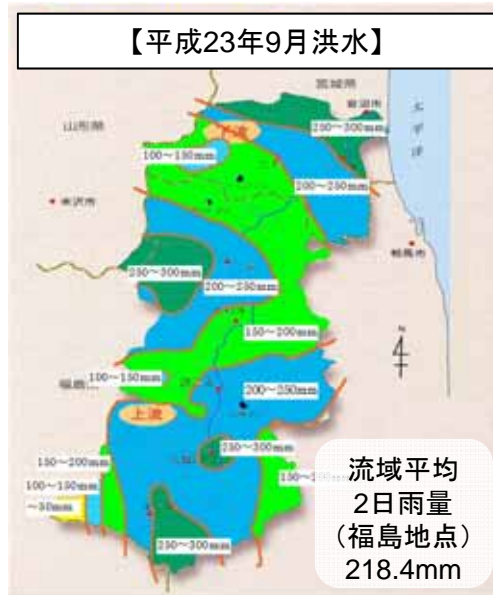
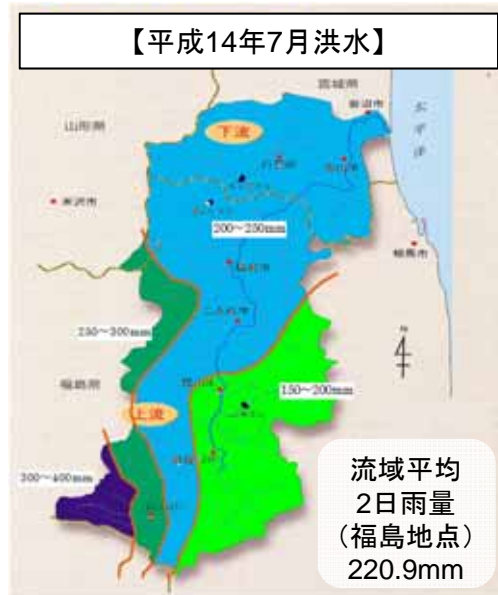
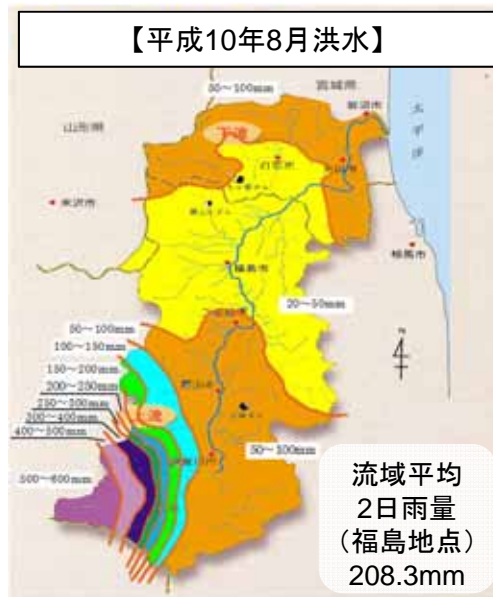
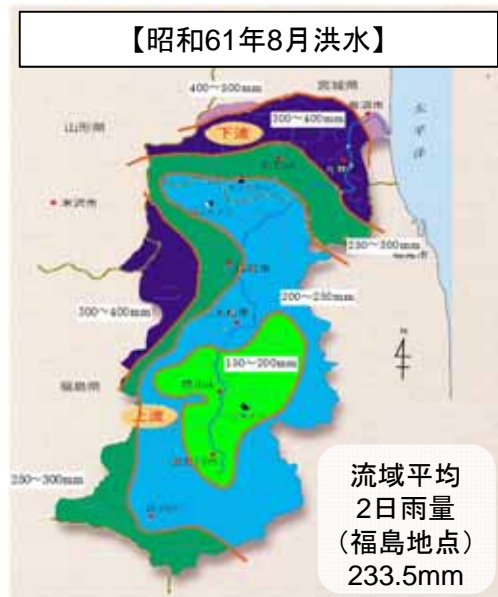
Comparison arrows: 1.2倍 (150 to 271), 1.1倍 (147 to 211), 1.3倍 (168 to 213)

※降雨データは国土交通省の雨量観測所のデータによる

上記他、伏黒・本宮地点等においても200mmを超過

令和元年台風第19号に伴う降雨と既往洪水における降雨分布の比較

阿武隈川での既往洪水における降雨分布パターン(2日雨量等雨量線図)



※河川整備基本方針 2

令和元年台風第19号に伴う出水時の水位状況

- ・ 阿武隈川および荒川について、**基準観測所全てで既往最高水位を観測。**
- ・ 基準観測所全てでは**はん濫危険水位を超過し、特に本宮・阿久津(郡山市)・須賀川地点においては、計画高水位※を超過。**

※ 河川管理上の基準とする水位の一つであり、この水位以下で計画高水流量を安全に流下させることができるようにする河川整備や、橋梁などの許可工作物設置に際して考慮すべき基準の一つとなるもの

観測所名	伏黒	福島	二本松	本宮	阿久津	須賀川	八木田
読み	ふしぐろ	ふくしま	にほんまつ	もとみや	あくつ	すかがわ	やぎた
水系名	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川
河川名	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	荒川
位置	右66.10K	左77.10K	右106.60K	左118.10K	右133.60K	左147.90K	左1.40K
計画高水位	7.27	6.56	13.18	9.29	8.68	7.99	3.46
所在地	福島県伊達市伏黒	福島県福島市杉妻町	福島県二本松市安達ヶ原	福島県本宮市大字下町	福島県郡山市大字阿久津	福島県須賀川市大字江持	福島県福島市須川町
計画高水位	7.27	6.56	13.18	9.29	8.68	7.99	3.46
はん濫危険水位	5.00	5.40	10.40	7.90	7.90	7.70	2.00
避難判断水位	4.50	5.10	10.10	6.30	6.80	7.10	1.30
はん濫注意水位	4.00	4.00	6.50	5.00	5.50	4.50	1.20
水防団待機水位	3.00	3.00	5.50	4.00	4.00	3.50	0.50
既往最高	昭和23年9月17日	昭和61年8月5日	平成23年9月22日	昭和16年7月23日	平成23年9月21日	昭和16年7月23日	平成1年8月6日
	6.00	5.90	11.57	9.63	9.20	9.00	2.50
R1.10.12洪水	令和元年10月13日 1:30	令和元年10月13日 3:20	令和元年10月13日 4:50	令和元年10月13日 2:10	令和元年10月13日 1:30	令和元年10月13日 7:20	令和元年10月12日 23:10
	6.34	6.43	12.80	9.73	10.01	9.61	2.55
	既往1位	既往1位	既往1位	既往1位	既往1位	既往1位	既往1位
				計画高水位を 44cm超過	計画高水位を 133cm超過	計画高水位を 162cm超過	※ 10月14日時点の 10分データでの整理

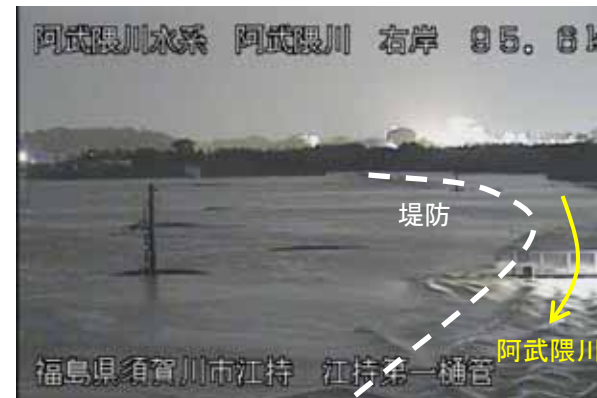
【伊達市】五十沢地先(4.0k付近)



【郡山市】阿久津橋(84.0k付近)

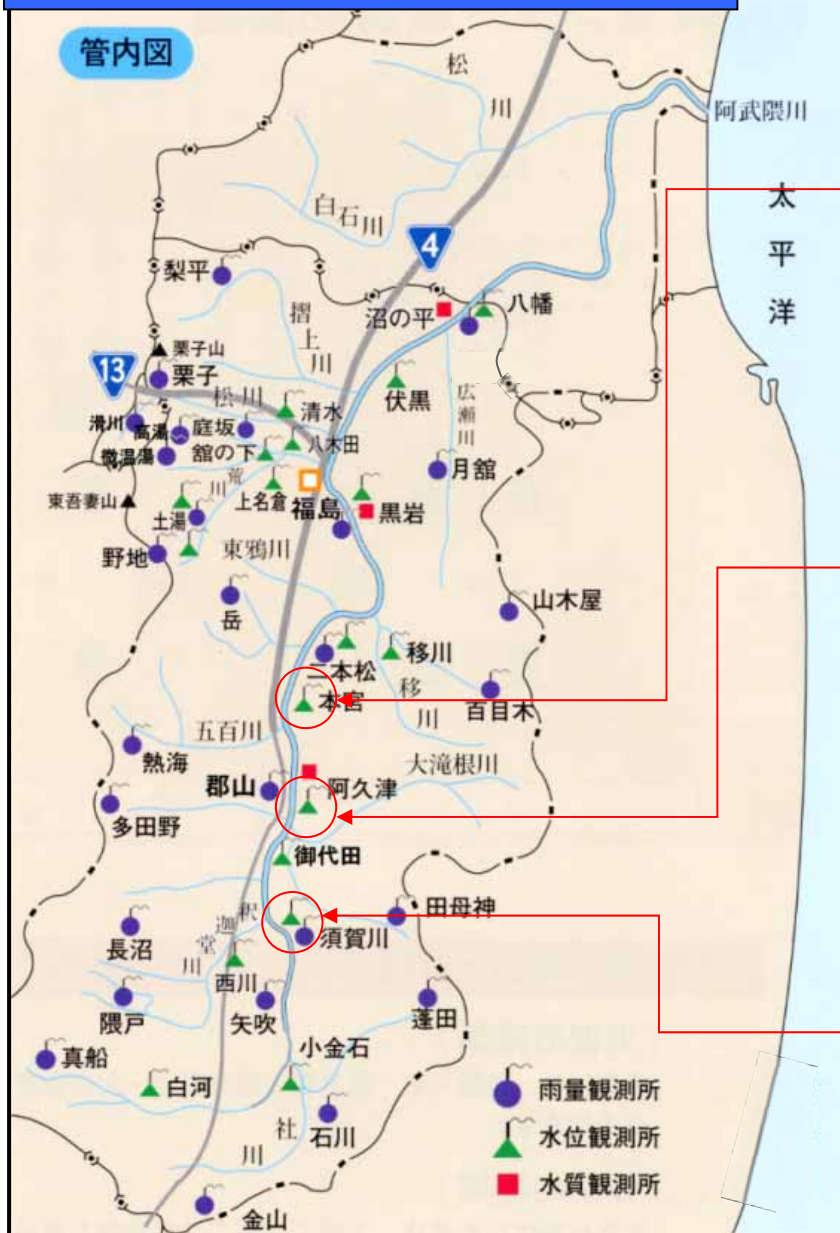


【須賀川市】江持第一樋管(95.6k付近)

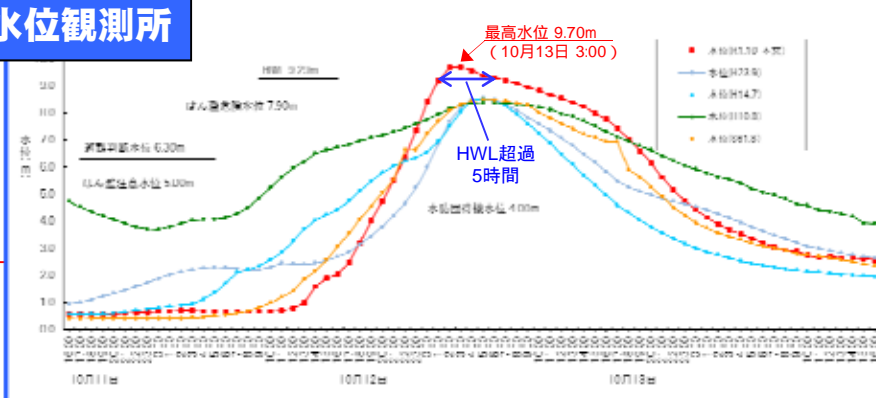


令和元年台風第19号に伴う出水時の水位状況 1 (上流)

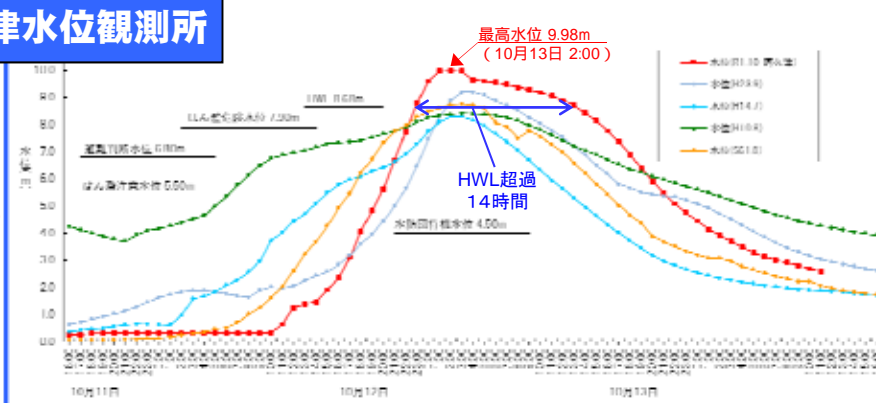
主要地点の水位



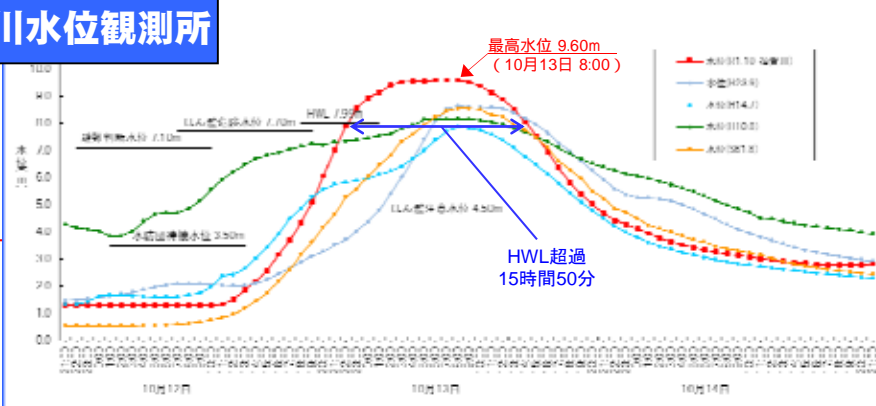
本宮水位観測所



阿久津水位観測所



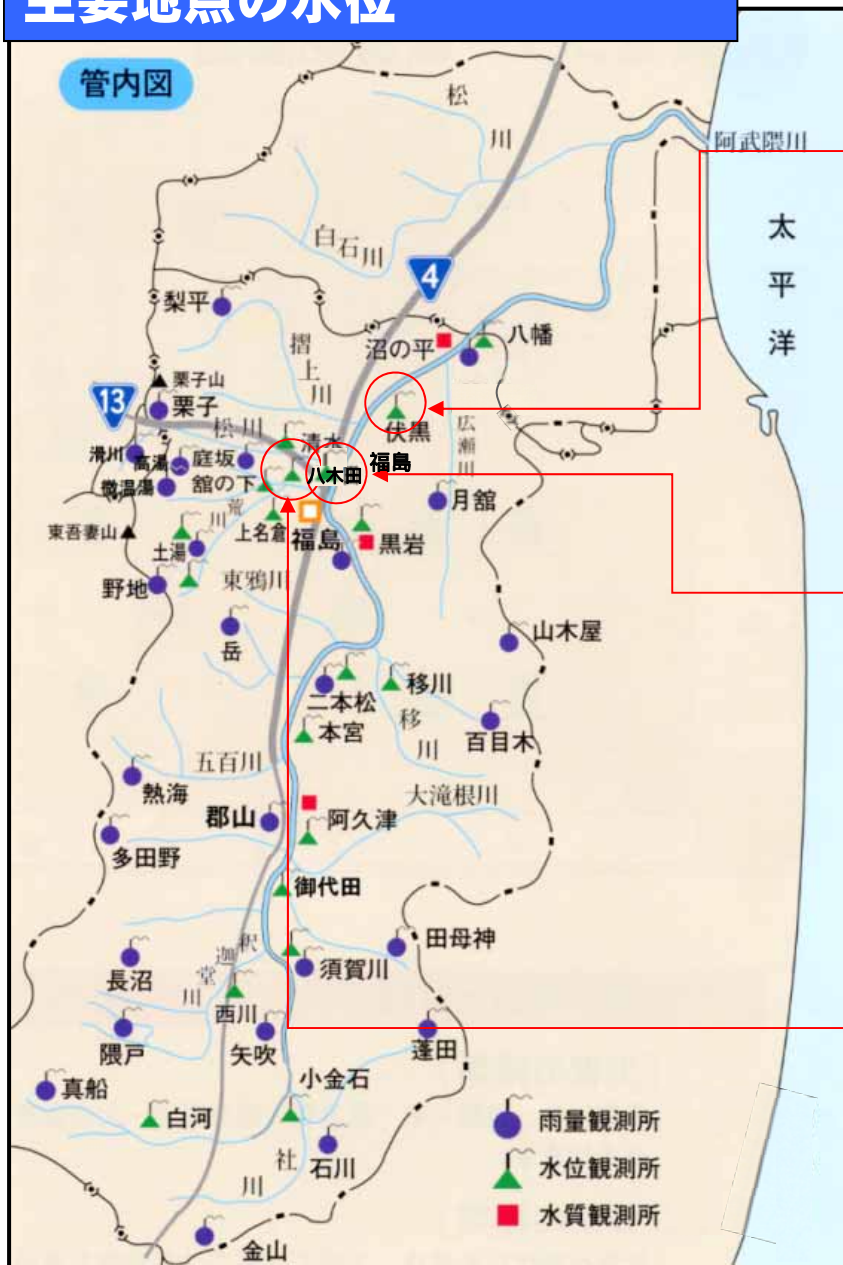
須賀川水位観測所



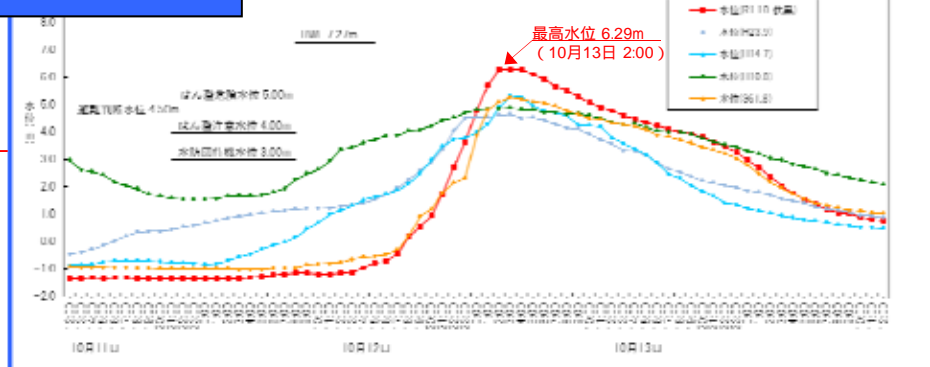
1時間ごとのデータのため、3ページの10分データの最高水位と時間とは異なる。4

令和元年台風第19号に伴う出水時の水位状況 2 (下流)

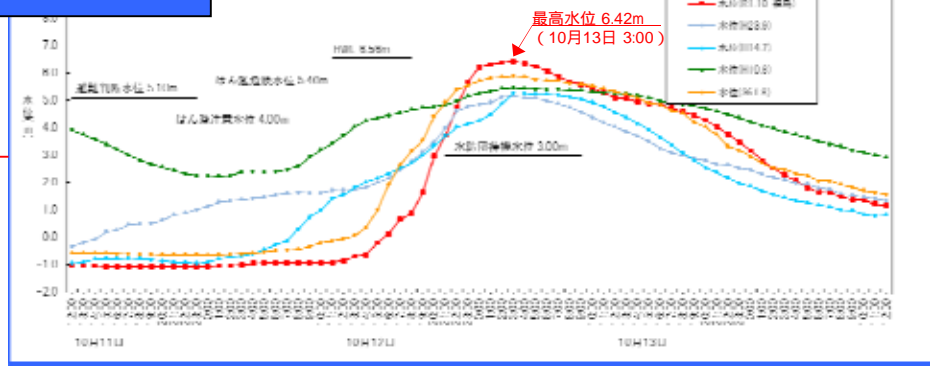
主要地点の水位



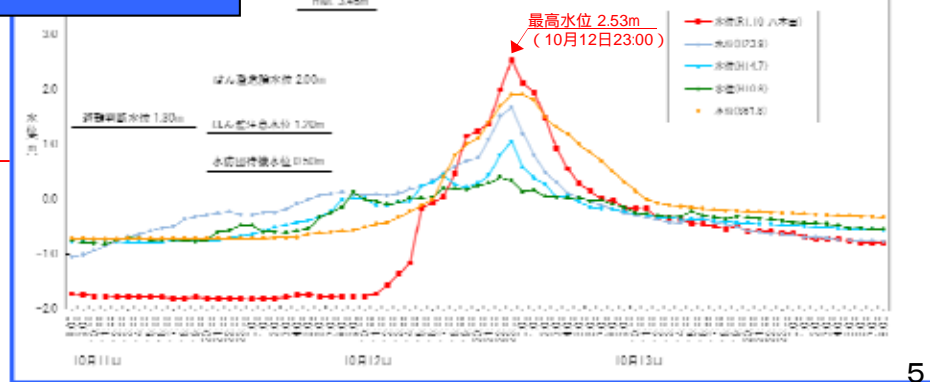
伏黒水位観測所



福島水位観測所



八木田水位観測所

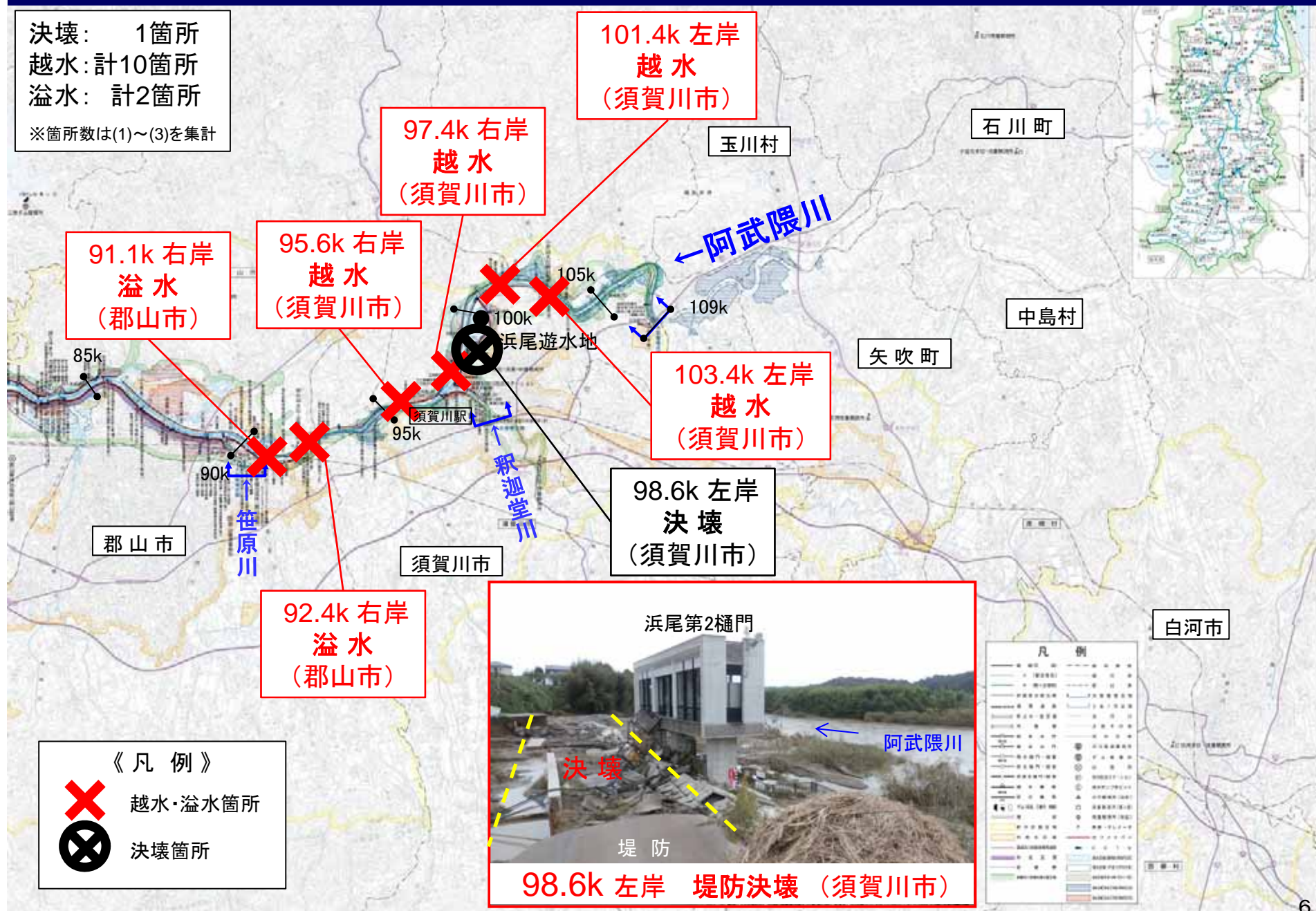


1時間ごとのデータのため、3ページの10分データの最高水位と時間とは異なる。

阿武隈川の越水・溢水と決壊（1）

11/25 現在

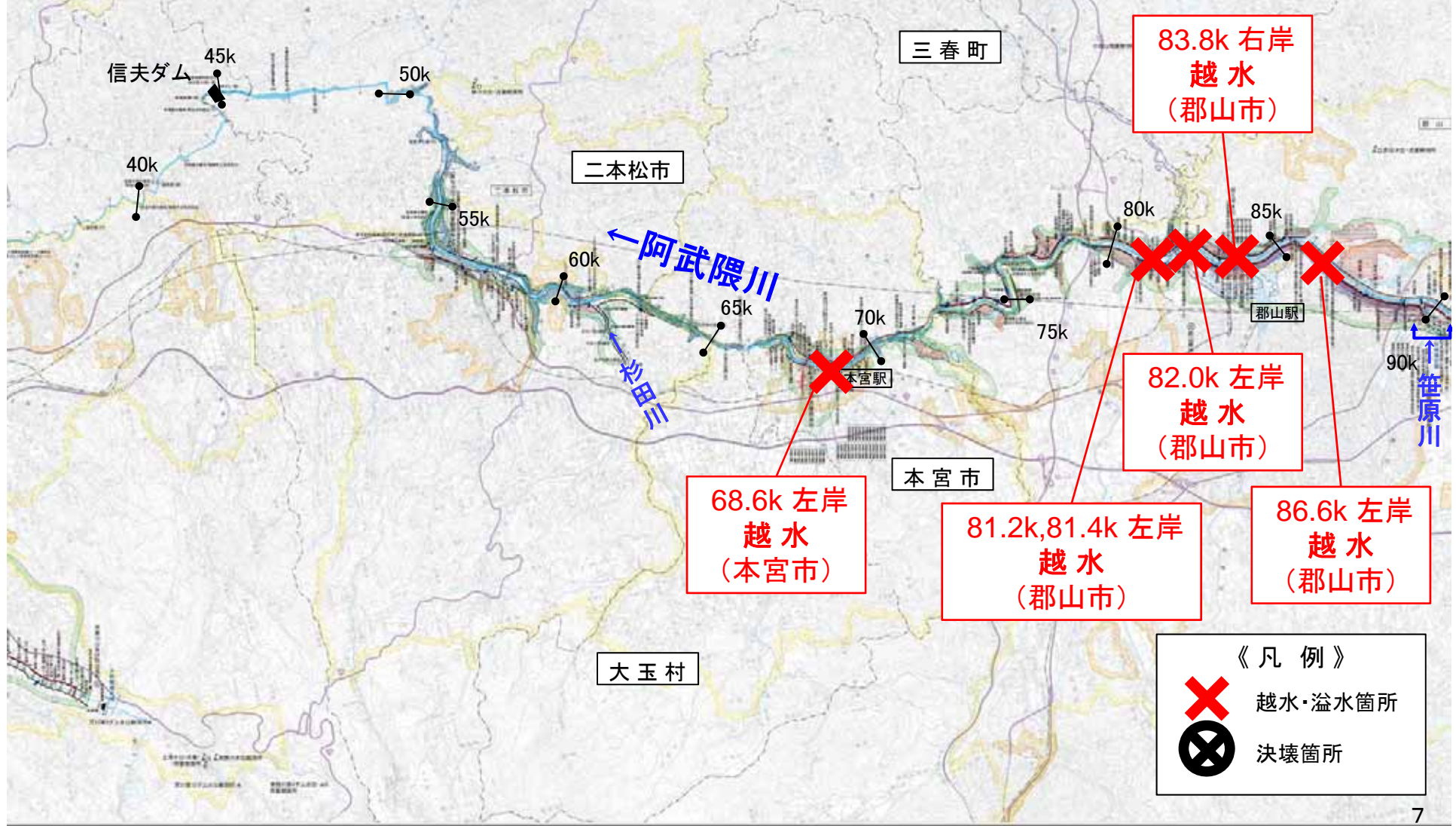
決壊： 1箇所
 越水：計10箇所
 溢水：計2箇所
 ※箇所数は(1)～(3)を集計



阿武隈川の越水・溢水と決壊（2）

11/25 現在

決壊： 1箇所
 越水：計10箇所
 溢水： 計2箇所
 ※箇所数は(1)～(3)を集計



阿武隈川の越水・溢水と決壊（3）

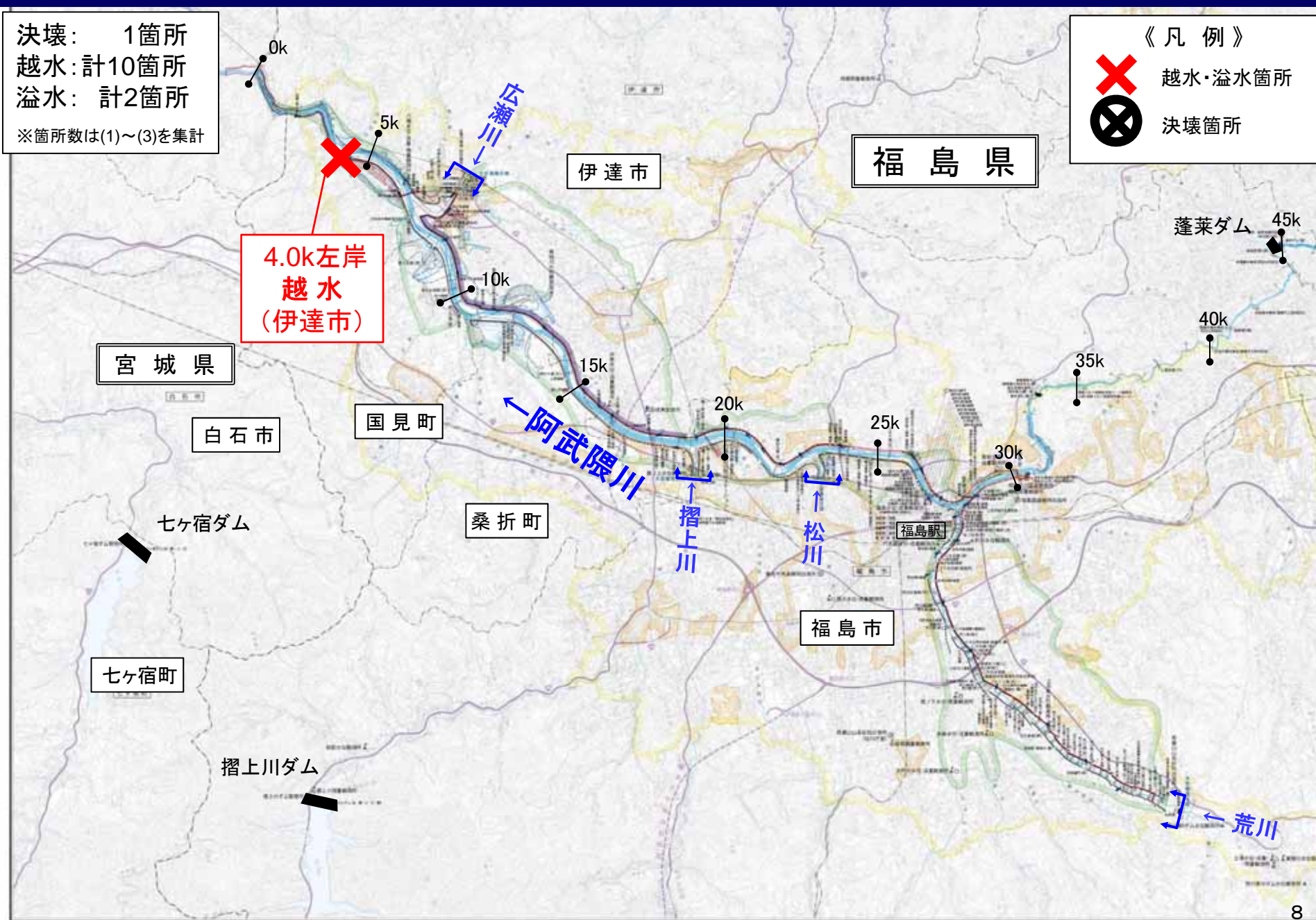
11/25 現在

決壊： 1箇所
越水：計10箇所
溢水： 計2箇所

※箇所数は(1)～(3)を集計

《凡例》

- ✖ 越水・溢水箇所
- ⊗ 決壊箇所



令和元年台風第19号に伴う出水後の被害状況 1 (郡山出張所管内)

郡山出張所管内

①安達太良川合流点付近(68kp付近)



③行合橋付近(87kp付近)



②富久山橋付近(81kp付近)



④釈迦堂川合流点付近(97kp付近)



■ 10/13にドローン・ヘリ, 10/14に航空機による状況把握調査等を実施。

令和元年台風第19号に伴う出水後の被害状況 2 (伏黒出張所管内)

伏黒出張所管内



■ 10/13にドローン・ヘリ, 10/14に航空機による状況把握調査等を実施。

令和元年台風第19号に伴う出水による堤防決壊箇所の緊急復旧工事

阿武隈川左岸98.6k付近(福島県須賀川市浜尾地先)

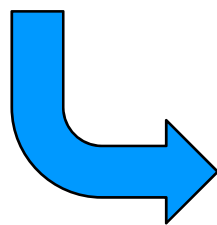
10月14日15時 緊急復旧工事着手

10月18日17時 仮堤防盛土

11月8日20時 土堤による締切完了 ⇒ 緊急復旧工事完了

緊急復旧工事状況

(被災直後)



(土堤による締切完了)



権限代行による福島県管理河川の堤防結果箇所への緊急復旧

○台風第19号に伴う出水により堤防が決壊した福島県管理区間の阿武隈川水系阿武隈川、滝川、佐久間川、濁川、安達太良川、藤田川、谷田川、鈴川において、福島県知事からの要請を受け国が権限代行により、福島県建設業協会の協力を得て堤防決壊箇所の緊急復旧工事を実施。11月21日に全16箇所の緊急復旧工事が完了。



権限代行による福島県管理河川の堤防結果箇所の緊急復旧 実施状況 (1 / 5)

	滝川 ①	佐久間川 ②③	濁川 ④
被災状況	 <p>滝川 R1.10.15</p>	 <p>佐久間川 R1.10.16</p>	 <p>濁川 R1.10.14</p>
施工中	 <p>R1.10.31</p>	 <p>R1.11.2</p>	 <p>R1.11.2</p>
完了	 <p>R1.11.7 (R1.11.7完了)</p>	 <p>R1.11.9 (R1.11.7完了)</p>	 <p>R1.11.8 (R1.11.7完了)</p>





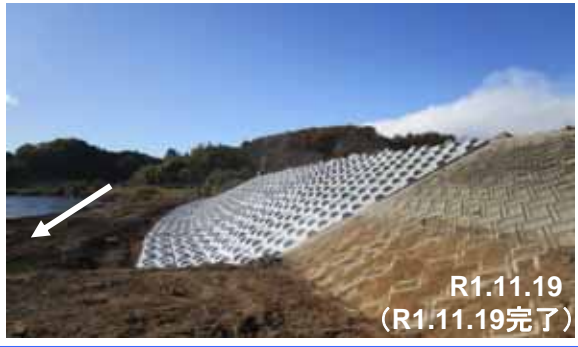
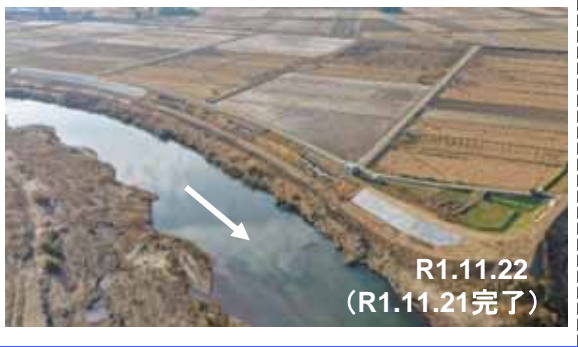

権限代行による福島県管理河川の堤防結果箇所の緊急復旧 実施状況 (2 / 5)

	安達太良川 ⑤	藤田川 ⑥	谷田川 ⑦
被災状況	 <p>安達太良川</p>	 <p>藤田川</p>	 <p>谷田川</p> <p>R1.10.16</p>
施工中	 <p>R1.11.8</p>	 <p>R1.11.6</p>	 <p>R1.11.1</p>
完了	 <p>R1.11.18 (R1.11.18完了)</p>	 <p>R1.11.20 (R1.11.15完了)</p>	 <p>R1.11.10 (R1.11.8完了)</p>

権限代行による福島県管理河川の堤防結果箇所の緊急復旧 実施状況 (3 / 5)

	谷田川 ⑧	鈴川 ⑨ ⑩	阿武隈川 ⑪
被災状況	<p>谷田川 R1.10.16</p>	<p>鈴川 R1.10.14</p>	<p>阿武隈川 R1.10.14</p>
施工中	<p>R1.11.1</p>	<p>R1.11.11</p>	<p>R1.11.14</p>
完了	<p>R1.11.10 (R1.11.8完了)</p>	<p>R1.11.19 (R1.11.18完了)</p>	<p>R1.11.22 (R1.11.20完了)</p>

権限代行による福島県管理河川の堤防結果箇所への緊急復旧 実施状況 (4 / 5)

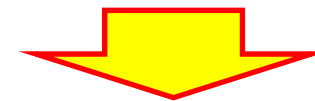
	阿武隈川 ⑫	阿武隈川 ⑬	阿武隈川 ⑭
被災状況	 <p>阿武隈川 R1.10.13</p>	 <p>阿武隈川 R1.10.13</p>	 <p>阿武隈川 R1.10.13</p>
施工中	 <p>R1.11.15</p>	 <p>R1.11.16</p>	 <p>R1.11.16</p>
完了	 <p>R1.11.19 (R1.11.19完了)</p>	 <p>R1.11.22 (R1.11.21完了)</p>	 <p>R1.11.22 (R1.11.21完了)</p>

権限代行による福島県管理河川の堤防結果箇所の緊急復旧 実施状況 (5 / 5)

	阿武隈川 ⑮	阿武隈川 ⑯
被災状況	 <p>R1.10.14</p>	 <p>R1.10.13</p>
施工中	 <p>R1.11.13</p>	 <p>R1.11.15</p>
完了	 <p>R1.11.20 (R1.11.15完了)</p>	 <p>R1.11.22 (R1.11.20完了)</p>

浜尾遊水地（須賀川市）の貯留効果

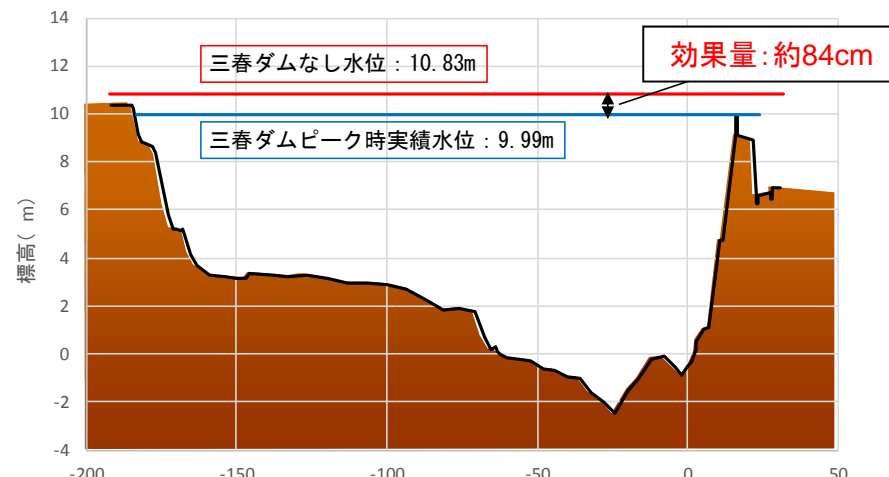
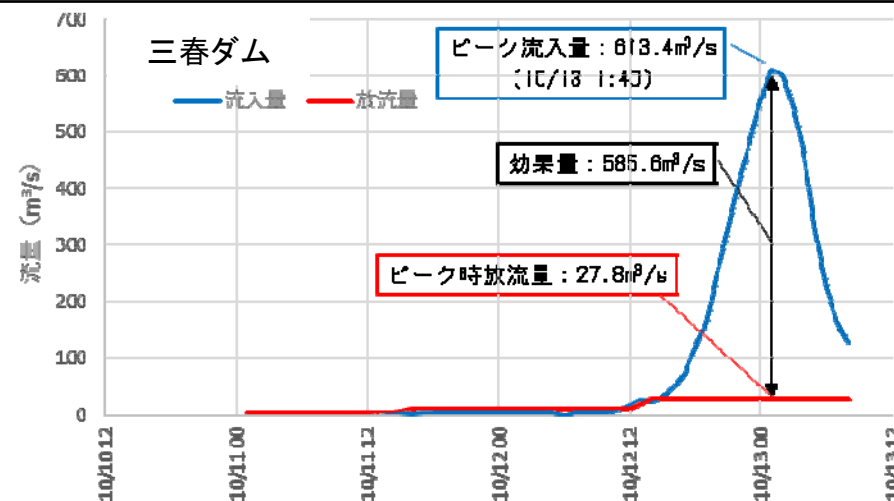
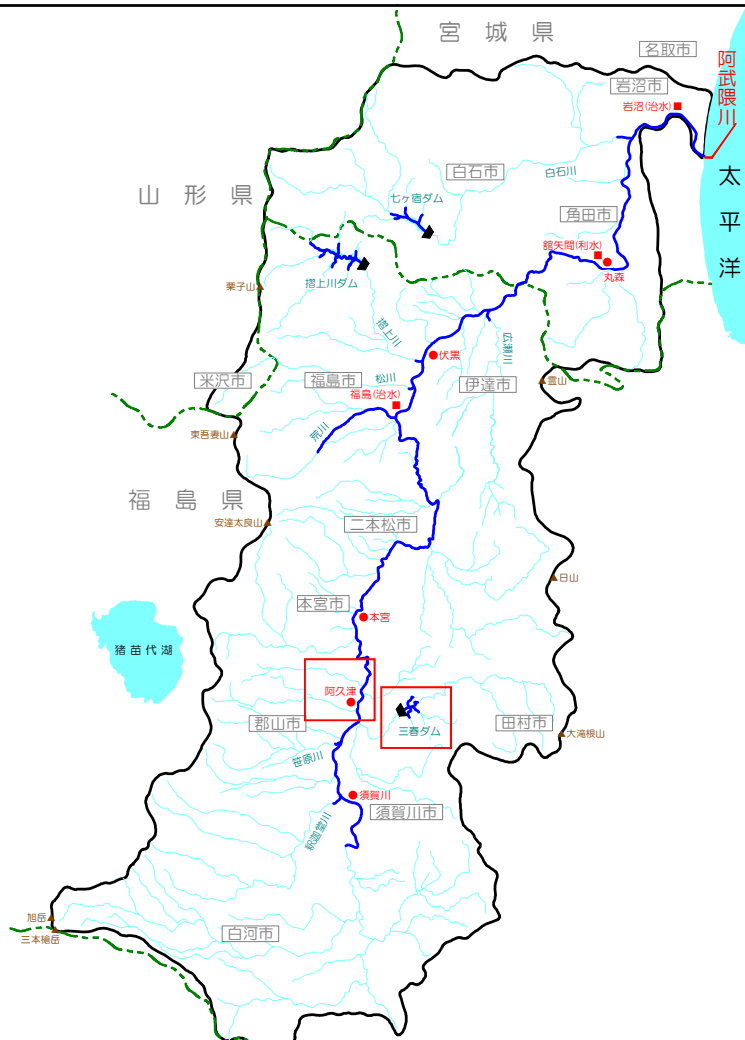
○平成の大改修で事業着手した浜尾遊水地(須賀川市)では、東京ドーム約2杯分の量(約260万 m^3)※を貯留し、これにより須賀川水位観測所で約30cm※水位を低下させるなど下流河川の流下水位を低下させ、越水箇所を減らしたり越水氾濫の時間を短縮し、須賀川市下流部や郡山市の浸水被害を軽減させたと推定される。 ※速報値



三春ダムの防災操作（洪水調節）による水位低減効果

- ・ 令和元年台風第19号では、阿武隈川支川大滝根川の三春ダムでは、防災操作（洪水調節）を実施した。
- ・ 総雨量は292.5mm（11日1時～13日4時）、最大流入量は613m³/s（13日1時40分）で、そのときの放流量は28m³/sと防災操作によりピーク時には585m³/sの効果を発揮した。
- ・ 防災操作により、下流の阿久津地点（郡山市）においては、**約84cmの水位低減**が図られた。

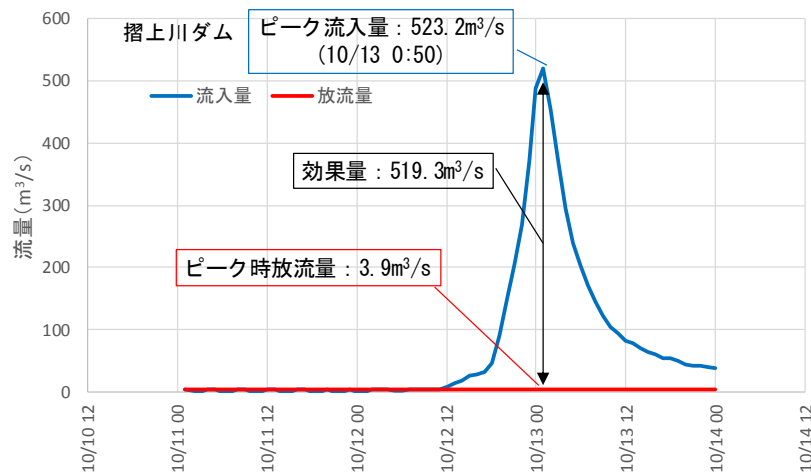
これにより、阿久津地点の**越水の時間を短縮し**、**阿久津地点（郡山市）の破堤を防いだ可能性**がある。 ※速報値



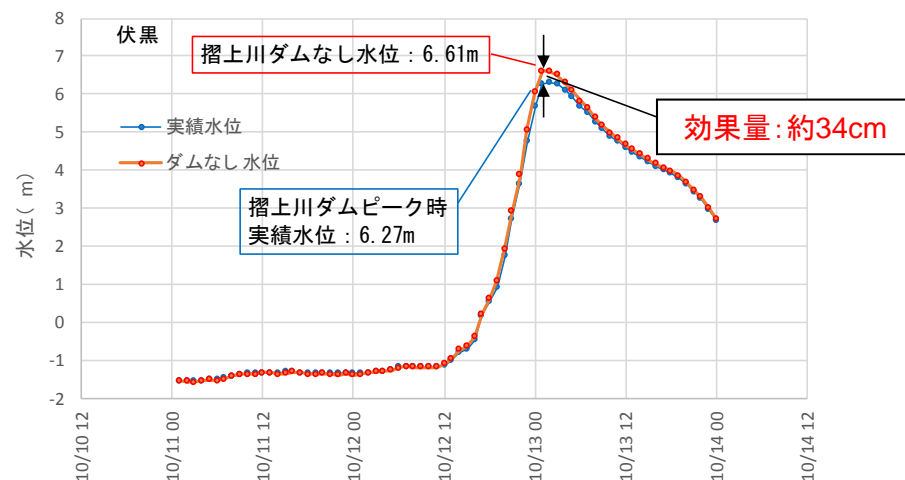
阿久津地点の河川水位比較

摺上川ダム（福島市）の防災操作（洪水調節）による水位低減効果

- ・ 台風第19号による降雨に伴い、摺上川ダムでは防災操作（洪水調節）を実施した。
 - ・ 摺上川ダムにおいては、最大流入量は $523\text{m}^3/\text{s}$ （13日0時50分）で、そのときの放流量は $4\text{m}^3/\text{s}$ と防災操作によりピーク時には $519\text{m}^3/\text{s}$ の効果を発揮した。
 - ・ 今回の防災操作により、下流河川（伏黒地点）において、河川水位を約 34cm 低減させたと推定される。
 - ・ もしダムがなかった場合には、さらに河川がはん濫する恐れが高まっていたと推定される。
- ※速報値



防災操作実績図（速報値）



伏黒地点における水位（速報値）



伏黒地点の河川水位比較

事前・随時の情報提供（ホットライン・台風接近前の情報共有・緊急会見）

●市町村長に対しホットラインによる情報提供

- 流域自治体13市長村と計58回のホットラインによる情報提供を実施。
- 避難勧告等の発令の判断を支援するため、今後の水位の見通しや過去の大洪水時における状況等を事務所長から市町村長へ直接伝達。

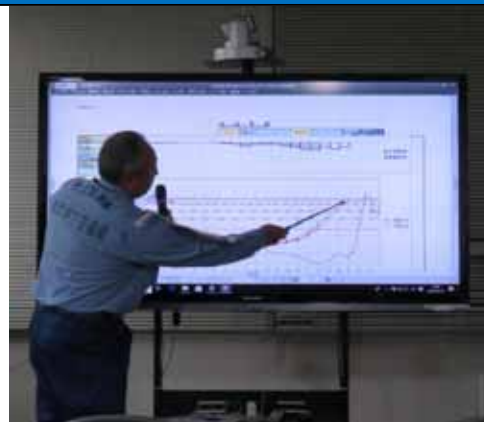
市町村名	実施回数	市町村名	実施回数
伊達市	4	須賀川市	11
桑折町	3	福島市	10
国見町	2	郡山市	11
鏡石町	1	川俣町	1
玉川村	3	大玉村	1
二本松市	4	矢吹町	1
本宮市	6		
		合計	58

●台風接近前の報道機関等への情報共有

- 台風第19号の「气象台説明会」に河川管理者として同席し出席した報道機関や地方公共団体に対して阿武隈川の水害の危険性や対応状況について共有(10月11日)
- 今回の台風は、大きな被害のあった平成23年9月の台風15号と似通ったルート。事務所においては、それを上回る被害も想定して監視体制を強化するとともに、関係する市町村長への注意喚起の事前のホットラインを実施



緊急記者会見（台風のさらなる接近にともない12日19時より緊急記者会見を実施）



情報共有事項

- 12日21時頃、阿久津地点・須賀川地点で氾濫危険水位を超え、さらに上昇の見込み。
- 早め早めの避難。命を守る最大限の行動。

について、事前の注意喚起を行った。21

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）による国直轄調査

○台風第19号に伴う降雨により、矢吹町、鏡石町及び玉川村の阿武隈川(福島県管理区間)における破堤箇所への復旧工法等について、各町村からの要請によりTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)による国直轄調査を実施。

（矢吹町における検討状況）



（鏡石町における検討状況）



（玉川村における検討状況）



○調査・検討結果については、河川管理者である福島県(須賀川土木事務所(主に鏡石町区間担当)、石川土木事務所(玉川村・矢吹町区間担当)及び県南建設事務所(矢吹町区間担当))に報告。